

# 百人町教会週報

No. 2716  
2022 年 11 月 13 日

## 主日ネット礼拝

証詞 賈 晶淳  
奏楽 録 音

前奏 Prelude

讃美 Hymn **460 番**(やさしき道しるべの)

主の祈り C Lord's Prayer C **93-5 C**

献げ Offering

報告 Report

聖書 Scripture **マタイによる福音 16 章 1-4 節**(新 31p)

証詞 Testimony **「ヨナのしるし」**

祈祷 Prayer

讃美 Hymn **438 番**(若き預言者)

黙想 Meditation

応答 Response roba1970@purple.plala.or.jp

### 今年の聖句

「わたしはすべての人にわが霊を注ぐ。あなたたちの息子や娘は預言し、老人は夢を見、若者は幻を見る。」ヨエル三の一

### 今週の聖句

「朝には『朝焼けで雲が低いから、今日は嵐だ』と言おう。このように空模様を見分けることは知っていないのか。」マタイ一六の三

✦ **本日の集会** (Zoom ID 「607 777 8018」 PW 「roba1970」)

お茶の間 (Zoom) 本日 午後 1 時半

✦ **今週の集会**

**聖書研究会** (Zoom) 11 月 16 日 (水) 午後 7 時半  
聖書 マカバイ記一 11 章 担当 池田啓基氏

✦ **来週の集会**

**主日礼拝 (Zoom)** 11 月 20 日 (日) 午前 10 時半  
証詞 山崎麻里子氏

✦ **消息と案内**

**次回世話人会** (Zoom) 12 月 12 日 (月) 午後 2 時

**次回「ろば」を読む会** (Zoom) 12 月 13 日 (火) 午後 3 時  
「ろば」163 号 担当 権田一正氏

**掛井五郎一周忌展 GORO と FUMI** 11 月 1 日 (火)-12 月 4 日 (日)  
ギャラリー TOM (渋谷区松濤 2-11-1)

✦ **特別献金** (献金送り先 郵貯口座 10120-92486841 日本基督教団百人町教会)

泉谷五十鈴氏 (コロナ回復感謝)

坂百合子氏 (ハイブリッド礼拝感謝)

小川ひとみ氏 (ハイブリッド礼拝感謝)

✦ **先週の集会報告**

	女	子	男	計	席上献金
主日礼拝	11/6	13	7	20	7,000
聖書研究会	11/16				
ろばを読む会	11/8	6	2	8	
パンをさく会	12/22				

次週	司会	証詞	奏楽	受付・献金	会員日誌
	赤尾泰子	山崎麻里子 (Zoom)			高島敦子

集会場所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-34-13 東京家政専門学校 2 階 <http://www.hyakunincho-church.com> 携 090(6176)5403

連絡先 〒162-0066 新宿区市谷台町 14-1-701 賈 晶淳 (カジヨンス) Tel/Fax 03(6273)2930 E-mail:hyakuninchoroba@gmail.com

### ◇世話人会報告◇

記録 前中榮子

出席：賈、泉谷、榎本、小川ひとみ、空閑、小島、新谷、前中

#### 1. 10 月の報告と反省

- ・未来委員会 10 月 24 日第 2 回委員会 LGBT について話合う。委員会のテーマを募集。
- ・ハイブリッド礼拝に必要機材の購入(カメラ、スクリーン)
- ・感染防止対策の徹底(体温計購入等)
- ・今後のハイブリッド礼拝参加人数は 12 名(内、司会・証詞者・受付・奏楽者)+-3 名の枠内にする。
- ・巡回(12、2、3 月第 1 週)、ハイブリッド(1、2、3 月第 3 週)
- ・2 月、3 月の巡回礼拝場所は懇談会や世話人会で相談。

#### 2. 11 月の予定

- ・永眠者記念礼拝、ハイブリッド(6 日)
- ・第 3 週証詞(20 日)山崎麻里子氏。
- ・待降節(27 日)

#### 3. 12 月の予定

- ・巡回礼拝(4 日)小島悦子氏宅
- ・第 3 週証詞(18 日)井谷 淳氏 (Zoom)
- ・パンをさく会(22 日)予定。
- ・クリスマス礼拝(25 日、Zoom)
- ・CS クリスマス会は中止、クリスマスカードを中学生まで送る。

#### 4. 会計報告

- ・1 月 1 日礼拝 (Zoom or Net) 懇談会で確認。
- ・次期会計人選は 3 月までに決める。
- ・次回世話人会 12 月 12 日 (月) 午後 2 時。

### ◇会員日誌◇

前島 信

昨年 8 月の会員日誌は「僕は今 75 歳(明後日 76 歳)の数学を楽しんでいる」で結びました。今日はその続き、というか、数学者の研究成果が世の中に出るまでの道筋を、現在進行形で具体的にお話ししたいと思います。

2021 年 5 月 19 日：Zoom 国際会議でヒントを得る。テーマはかつて僕がそのテーマで指導して今は名古屋の大学の教員をやっている元学生 S 君のものなので、すぐに彼に連絡。そこから主にメール、Zoom で共同研究が始まる。

2021 年 5 月下旬～6 月初旬：必要な文献集めと要点読み。

2021 年 6 月 11 日：S 君に研究計画書を送る。

2022 年 2 月 16 日：半年以上かけて、約 30 ページの論文が完成。確率論で著名な国際雑誌に投稿する。(雑誌編集委員長は査読のため匿名のレフェリー(1~3 名)を選び、査読を依頼。数学論文の場合、査読の期間は 3 か月から 1 年かかることも。)

2022 年 7 月 13 日：雑誌編集委員長から「レフェリー結果は条件付き採択。数か所証明の細部に不明なところがあるので改訂版を出すように。」とのメール。英語もレフェリーにかなり直される。

2022 年 8 月 11 日：共同研究者と集中議論の後、改訂版を送る。

2022 年 10 月 18 日：雑誌編集長から「レフェリーから、まだ理解できない部分があるのでもう一度。」とのメール。

2022 年 11 月 7 日：レフェリーが分からないという部分に詳細な計算を加えて再改訂版を送る。(掲載決定されることを祈りながら。)

といった感じで、ひとつの問題に取り掛かってから約 1 年半で 1 編の論文が世に出る、といった感じでしょうか。ただその間も並行していくつかの問題を考えています。どの数学者もやるように。